

令和7年度（第48回） 「地質技術者セミナー」報告

技術委員会 岩田 賢

令和7年度で「地質技術者セミナー」（旧若手技術者セミナー）は、お陰様で第48回を迎えました。

今回も昨年と同様に1泊2日のセミナーを開催する運びとなりました。

（株）不動テトラ様とNEXCO東日本様のご協力により、「東北自動車道 栗原インターチェンジ工事」の現場見学を行い、参加者でディスカッションを行いました。

また、集合場所から「栗原インターチェンジ工事」までのバスの中では、参加者の取り上げて欲しいテーマに対して、技術委員+参加者全員で意見交流会を行ないました。

更に、宿泊した「鳴子温泉 幸雲閣」では、恒例となりました会社間の垣根を超えた地質技術者による意見交換・親睦の集いを開催しました。

この2日間は、13名の参加者と6名の技術委員の計19名で楽しく交流できました。

1. セミナーの主題・目的

（報告 岩田委員）

今回は、宮城県栗原インターで（株）不動テトラ様の工事現場を見学させて頂き、NEXCO東日本様の説明もあり、大変有益な現場を見させて頂きました。

2日目では、長年NEXCO様で活躍され、現在は、大日本ダイヤコンサルタント（株）に所属されている長尾和之様による話題提供と参加者が2グループに分かれて、日ごろの業務で悩んでいること等をグループディスカッションして、楽しく閉会しました。

今回も若手技術者同士で積極的な意見交換が行われ、今後の地質調査業界を背負っていく、若手技術者の向上と、交流

の場が持てたことが良かったと考えています。

2. 実施行程・内容

・場所：宮城県栗原市「栗原インターチェンジ工事現場」と大崎市「鳴子温泉 幸雲閣」

・セミナーの内容

1日目（10/2）13：00～17：00「栗原インターチェンジ工事」

・移動中のバスでの意見交流

・「栗原インターチェンジ工事」の見学
1日目（10/2）19：00～「鳴子温泉 幸雲閣」

・意見交流会

・延長戦

2日目（10/3）9：00～12：00「鳴子温泉 幸雲閣」

・「長尾和之」様による話題提供

・グループディスカッション（参加者全員）

・グループ発表

・全体討議とまとめ（三浦技術委員長）

3. バスでの討論会（1日目 13：00～14：00、16：00～17：00）

（報告 岩田委員）

集合場所と宿泊場所である「鳴子温泉 幸雲閣」から「栗原インターチェンジ工事現場」へバスの往復の移動中に、参加者から取り上げて欲しいテーマに対して、技術委員他参加者全員で意見交換を実施しました。

司会進行は倉田委員が行い、参加者一人一人が質問事項を述べて、その質問に対して最適な回答者等から意見交換をしました。

特に今回は、豪雨災害等の質問等があ

り、これに対して、話題提供者である長尾様からの回答が非常に的確であり、大変有意義な意見交換となりました。



写真-1 バスの中で (1日目)

4. 研修内容(1日目 14:00~16:00)

(株) 不動テトラ様とNEXCO東日本様のご協力により、「東北自動車道 栗原インターチェンジ工事」の現場見学を行いました。

当工事は、東北自動車道の栗原市築館荻沢地内において復興支援道路である(主) 築館(みやぎ県北幹線道路)に直結する(仮称)栗原インターチェンジを新設する工事です。沿線の工業団地や三陸縦貫自動車道との物流の効率化、速達性、定時性、確実性、利便性の向上が期待されるとともに、広域医療ネットワークの形成や地域間防災の連携強化を図るものです。

主な工事内容は、工事総延長L=2,148mで、橋梁下部工：4基、基礎杭854m、ボックスカルバート：4基、地盤改良工：1式、跨道橋撤去工：1式等です。



写真-2 現地見学会の状況写真(1日目)

当該地では、調査段階で被圧水が確認されており、その対策として、施工基面

をGL+6.0mに盛土してから、基礎杭を打設したことを教えて貰いました。

また、NEXCO東日本様から跨道橋撤去の夜間作業の状況を動画で見せて頂き、大変勉強になりました。



写真-3 現地見学会の状況写真(1日目)

5. 意見交流会(1日目 18:45~21:00)

(報告 菊地委員)

意見交換会は、宿泊場所の「鳴子温泉 幸雲閣」で行いました。

今年の意見交流会は、久しぶりの温泉での宴会となり、宴会料理を存分に堪能できたと思います。

交流会では、自己紹介と翌日のグループディスカッションのグループ分けを行いました。

また、交流会には翌日の講師をして頂く大日本ダイヤコンサルタント(株)の長尾様も参加して、おいしい料理と鳴子の温泉で参加者同士交流ができたと思います。

恒例の「延長戦」では、今回も参加者全員と長尾様が幹事部屋に集合し交流会となり「仕事の話」、「会社の話」、「プライベートな話」等々で、大いに盛り上がりました。除々に脱落者が出ましたが、普段は接する機会が少ない他社技術者と本音で話が出来た有意義な時間であったと思われ、この光景を見ていると、「地質技術者セミナーの意見交流会」の意義を再認識し、次年度以降も継続すべき行事であることを実感致しました。

6. 話題提供 (2日目9:00~10:00)

(報告 谷口委員)

2日目の最初の話題提供では、長尾和之様(現大日本ダイヤコンサルタント(株))を講師にお迎えし、「素因と誘因からのり面の予防保全を考える」と題してご講演頂きました。

旧道路公団時代から蓄積された高規格道路ののり面崩壊事例に基づき、複雑に絡み合う発生要因を定量的な指標でスコアリングし、崩壊危険箇所を抽出する高度な解析手法が丁寧に紹介されました。日頃から現場での調査・試験などの要素技術に取り組む参加者にとって、自身の手で得られたデータが多角的な分析を経て、高度な検証へと繋がっていくプロセスは、非常に大きな学びとなったと思います。話題提供を経て、参加者一人一人にとって、明日からの業務への意欲を高める大変有意義な機会となったと感じています。



写真-4 話題提供の状況(2日目)

7. グループディスカッション(2日目)

(1) 第1班(2日目10:10~11:50)

(報告 倉田委員)

第1班は、(株)自然科学調査事務所の柳田雄亮様を座長として、「人材育成と社員の定着、若手社員が早期活躍するためには」をディスカッションのメインテーマとして、活発な意見交換が行われました。第1班のメンバーは1~3年目までの若手技術者が多く、初めに、入社

してからこれまでの経験を各自が紹介した後に、テーマについて話し合いが行われました。

○テーマ1:入社後の社内研修について

- ・多くの会社では、1~3か月後の研修が行われているが、1か月ぐらいが適正ではないか。
- ・研修の内容としては、他部署の体験(2~3日程度)もためになるが、自身の配属先の業務内容に直結するような研修内容が良い。

○テーマ2:若手の早期活躍について自身がやるべきこと、会社・上司に望むこと

- ・個人:取得すべき資格を見つけて自己研鑽、上司以外の相談できる人を見つける。
- ・会社・上司:最初の業務を担当後、任せられる範囲で仕事を任せてほしい。業務を一通り経験したい。
- ・各班の意見発表の場では、2班や技術委員からも質問や意見がありました。
- ・意見:定型的な業務の手順書やマニュアル等がなくて困ることが多い。
- ・質問:入社直後の業務の進め方(業務量の多さ)についてどう感じているか。
→まず、比較的簡単な業務から担当して徐々に業務難易度が高いものを任せてもらいたい。
→最初は簡単な業務からが良いが、一度大きな業務を経験して何ができて何が分からないかを明確にしたい。

また、若手の育成と業務効率化の両立については難しいのではないかという結論でした。



写真-5 1班のグループディスカッション状況

○総評

若手技術者を中心とした第1班は、自身の経験を伝える中で、若手ならではの悩み等も共有できたかと思えます。また、中堅技術者は若手の意見を聞くことで、部下の育成方針について等、参考になる意見が交換できたのではないのでしょうか。今回のセミナーを通じて貴重な仲間を得ることができたと思えますので、今後もこの繋がりは大切にしてもらいたいと思えます。

(2) 第2班 (2日目 10:10~11:50) (報告 蜂谷委員)

第2班は、(株)北杜地質センターの吉田昌幸様を座長として、「設計・施工上の留意点の書き方とその事例」について議論が行われました。

第2班は、入社2~4年の若手技術者と経験年数10年程度の中堅技術者で構成され、様々な技術力の方が集まり、活発な意見交換が行われました。

まず初めに、日頃の報告書作成時どのようなことを意識して、「設計・施工上の留意点」を記載しているか、について意見交換がなされました。

意見1：設計や施工時で地質的な観点から気をつけて欲しい内容等を記載しているが、設計等の知識があまりないため、どのように記載するのが正しいか迷っている。

意見2：報告書全体を見なくても、地質の問題点が把握できるように、わかりやすく、簡潔に記載するようにしている。

意見3：地質のプロという視点で記載するようにしている。

次に、実際の業務で記載している「設計・施工上の留意点」について、様々なシチュエーションを想定して、意見交換が行われました。

Q1：建築物に対する地質調査時の設計・施工上の留意点はどのようなものがあるか。

A1：支持地盤に玉石が分布する場合、杭基礎の施工方法によっては、礫径が影響を及ぼすことを記載している。

A2：調査箇所で支持地盤の出現深度が異なる（支持地盤が傾斜する）場合は、出現深度によって採用する基礎形状が異なることを記載している。

A3：浅い深度に支持地盤が分布し、その直下に粘性土層が分布する場合には、直接基礎で支持させた場合、粘性土層で支持力不足や不同沈下を生じる可能性があることを記載している。

Q2：地下水の浅い地盤での設計・施工上の留意点はどのようなものがあるか。

A1：山岳部では、湧水量を把握するために現場透水試験を実施し、数値的に留意点を記載している。

Q3：スクリーウエイト貫入試験等の補助的試験のみで調査を行う場合、設計・施工上の留意点はどのようなものがあるか。

A1：試験の特性上、土質状況を目視で確認できないため、礫当たり等で試験深度が高止まりする場合等は、土質の確認も含めて後

続調査計画でのボーリング調査の提案等を記載している。

A2：火砕流堆積物では、礫の混入具合によって、貫入量が調査地点毎で1m～10mと大きく異なる場合があるため、文献等から得られる地質の特徴を踏まえて記載している。

記載する内容のまとめとして、「調査結果から得られた事実は正確に記載し、不確実な結果がある場合にはそれを明確にするための後続調査計画を提案する」のが良いのではないかという意見が挙げられていました。



写真-6 2班のグループディスカッション状況

今回のディスカッションは、直接の実務で活用できると議題であったこともあり、全員が積極的に、また日頃の悩みを相談しつつ、活発な意見交換がなされていました。座長の吉田様の進行のおかげもあって、2班全員が自発的に発言していて、将来が楽しみな技術者がたくさんいることにとても嬉しく思いました。

今回の地質技術者セミナーで出会った仲間とは、企業の垣根を越えて今後も交流を深めて頂ければ嬉しい限りです。



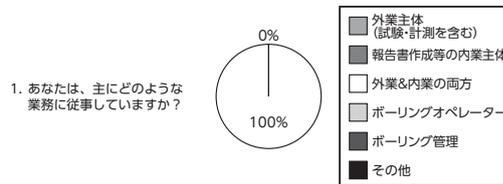
写真-7 閉会の集合写真（2日目）

7. アンケート集計 (報告 蜂谷委員)

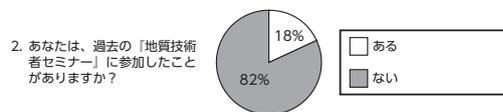
令和7年度 (第48回) 地質技術者セミナーアンケート結果

回答数 13 (複数回答あり)

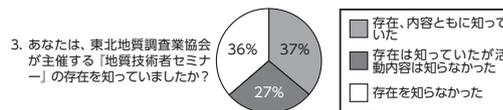
1. あなたは、主にどのような業務に従事していますか？	
複数回答	回答数
・外業主体 (試験・計測を含む)	
・報告書作成等の内業主体	
・外業&内業の両方	12
・ボーリングオペレーター	
・ボーリング管理	
・その他	
・その他	



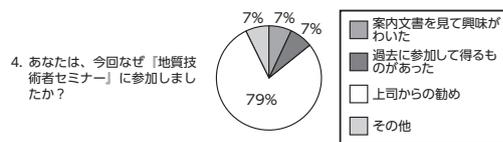
2. あなたは、過去の「地質技術者セミナー」に参加したことがありますか？	
	回答数
・ある	2
・ない	9



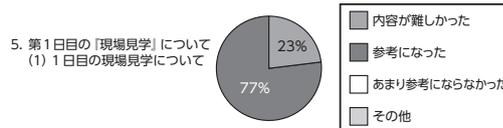
3. あなたは、東北地質調査業協会が主催する「地質技術者セミナー」の存在を知っていましたか？	
	回答数
・存在、内容ともに知っていた	4
・存在は知っていたが活動内容は知らなかった	3
・存在を知らなかった	4



4. あなたは、今回なぜ「地質技術者セミナー」に参加しましたか？	
複数回答	回答数
・案内文書を見て興味がわいた	1
・過去に参加して得るものがあった	1
・上司からの勧め	11
・その他	1
・その他	
・CPD 取得	



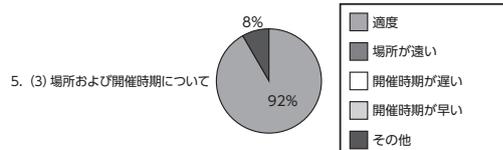
5. 第1日目の「現場見学」について	
(1) 1日目の現場見学について	回答数
・内容が難しかった	3
・参考になった	10
・あまり参考にならなかった	
・その他	
・その他主な意見	



(2) 今回の開催は木曜日と金曜日になりました (今までは金曜日と土曜日開催)	
	回答数
・今回の方が良い	11
・以前の方が良い	
・その他	1
・その他主な意見	
・どちらでも良い。	

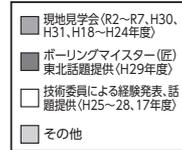
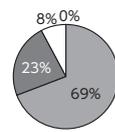


(3) 場所および開催時期について	
	回答数
・適度	11
・場所が遠い	
・開催時期が遅い	
・開催時期が早い	
・その他	1
・その他主な意見	
・仕事が少ない春～夏の方が更に参加しやすい。	



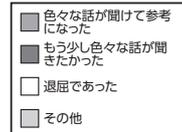
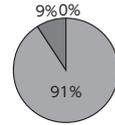
(4) 実施形態について	回答数
・現地見学会 (R2～R7、H30、H31、H18～H24年度)	9
・ボーリングマスター (匠) 東北話題提供 (H29年度)	3
・技術委員による経験発表、話題提供 (H25～28、17年度)	1
・その他	
・その他主な意見	
・ローテーションで実施して頂きたい。	

5. (4) 実施形態について



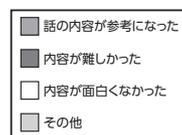
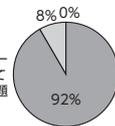
6. 第1日目の「意見交流会」について	回答数
・色々な話が聞けて参考になった	11
・もう少し色々な話が聞きたかった	1
・退屈であった	
・その他	
・その他主な意見	

6. 第1日目の「意見交流会」について

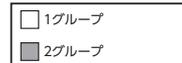
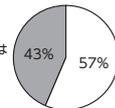


7. 第2日目の「話題提供・グループディスカッション」について	回答数
(1) 講師 (長尾様) による話題提供について	
・話の内容が参考になった	11
・内容が難しかった	
・内容が面白くなかった	
・その他	1
・その他主な意見	
・内容は難しかったが、参考になりました。	
(2) あなたが入ったグループはどれですか？	
・1グループ	6
・2グループ	5
(3) 「グループディスカッション」の内容について	
・話の内容が参考になった	11
・内容が難しかった	1
・内容が面白くなかった	
・その他	
・その他主な意見	
(4) 「グループディスカッション」についてどのように考えますか	
・このままの継続が良い	12
・グループテーマを変更すべき	
・テーマを決めずに実施すべき	
・その他	
・その他主な意見	

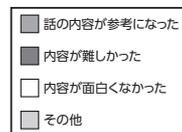
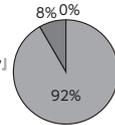
7. 第2日目の「話題提供・グループディスカッション」について (1) 講師 (長尾様) による話題提供について



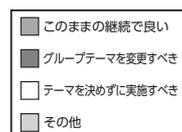
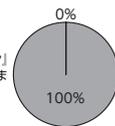
7. (2) あなたが入ったグループはどれですか？



7. (3) 「グループディスカッション」の内容について

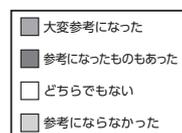
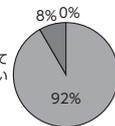


7. (4) 「グループディスカッション」についてどのように考えますか

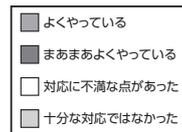
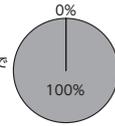


8. この「地質技術者セミナー」について	回答数
(1) 今回のセミナーの印象はいかがでしたか？	
・大変参考になった	11
・参考になったものもあった	1
・どちらでもない	
・参考にならなかった	
(2) 協会委員の対応はいかがでしたか？	
・よくやっている	12
・まあまあよくやっている	
・対応に不満な点があった	
・十分な対応ではなかった	
(3) 今後 (次年度以降) について	
・このまま継続してほしい	12
・内容を変更して継続してほしい	
・特に継続の必要性はない	
・その他	
・その他主な意見	

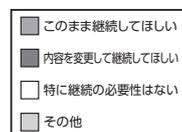
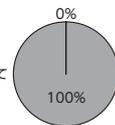
8. この「地質技術者セミナー」について (1) 今回のセミナーの印象はいかがでしたか？



8. (2) 協会委員の対応はいかがでしたか？



8. (3) 今後 (次年度以降) について



<p>(4) 本年度は、現場見学、意見交流会、講師による話題提供を実施しましたが、どのような印象を受けましたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交流会での参加者側の意見出しを促すために、普段の業務分野が分かる対象構造物（盛土や切土、ダム、橋など）や、専門分野（土質か地質）について事前に聞き取りをして、委員側で指名してもよいと思いました。 ・普段行かない現場の見学は楽しかったが、専門用語も多く、事前にもう少し説明が欲しかった。 ・切土、盛土の素因について、大変参考になり、今後の業務でも活用していきたい。 ・同業他社の若手と話をし、他社との交流や新たな視点を得ることができた。普段あまり見ない他社の現場を見ることができ、施工者視点の話は勉強になった。 ・普段行かない工事現場に行くことができ興味深かった。意見交流会では同世代の方々と親しくなれて非常に良かった。 ・講師による話題提供では、今後の業務に生かすことができそうなお話を聞くことができ、参考になった。 ・地質関係の様々な話を聞いて勉強になった。現場見学においても、工事の地層による影響についてなど聞いて良かった。 ・現場見学会では、ゼネコンの施工現場など、なかなか入る機会がない場所を見学できて参考になった。 ・現場見学会はやや難しい印象がありましたが、委員の方々や現場の方々の説明を聞いて理解することができました。 ・意見交流会、講師の方のお話は、今年もとてもためになりました。ありがとうございます。 ・他会社との意見交流、事例、体験を聞くことができ、有意義であった。 ・普段業務で関わりが少くない方々の話を聞いて、勉強になりました。 ・今回、このような機会を設けていただきありがとうございます。様々な会社の方と交流することができて非常に有意義な時間でした。 ・初めて参加したが、貴重な経験になった。実務に活かせればと思う。 																							
<p>(5) 次年度以降の参加について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・継続して自身が参加したい</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>・会社の同僚を参加させたい</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>・特に参加の意義を感じない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・その他（回答なし）</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">・その他主な意見</td> </tr> </tbody> </table>		回答数	・継続して自身が参加したい	6	・会社の同僚を参加させたい	8	・特に参加の意義を感じない		・その他（回答なし）		・その他主な意見		<p>8. (5) 次年度以降の参加について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続して自身が参加したい</td> <td>57%</td> </tr> <tr> <td>会社の同僚を参加させたい</td> <td>43%</td> </tr> <tr> <td>特に参加の意義を感じない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>その他（回答なし）</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	回答内容	割合	継続して自身が参加したい	57%	会社の同僚を参加させたい	43%	特に参加の意義を感じない	0%	その他（回答なし）	0%
	回答数																						
・継続して自身が参加したい	6																						
・会社の同僚を参加させたい	8																						
・特に参加の意義を感じない																							
・その他（回答なし）																							
・その他主な意見																							
回答内容	割合																						
継続して自身が参加したい	57%																						
会社の同僚を参加させたい	43%																						
特に参加の意義を感じない	0%																						
その他（回答なし）	0%																						
<p>9. この「地質技術者セミナー」全般に関する意見など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーを開催頂きありがとうございます。横のつながりをつくれる貴重な機会となりましたので、今後も開催して頂きたいです。 ・とても有意義でした。ありがとうございます！！ ・今回については、普段入れない現場に入れ、大変参考になりました。 ・1年目の昨年とはまた違う視点、考え方でセミナーを受けることができました。とても楽しく学びの多いセミナーでした。 ・ぜひいつか主催側として参加してみたいです。本当にありがとうございました。 ・貴重な時間をありがとうございました。若手が多いセミナーでしたので、自社の若手にもぜひ参加してほしいと感じました。 ・技術委員、講師の先生の進行がスムーズで、有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。 ・貴重な経験をさせて頂きありがとうございます。可能であれば個室を希望したい。 																							

8. おわりに

（報告 三浦委員長）

今年度は、長年NEXCO様で活躍され、現在は、大日本ダイヤコンサルタント(株)に所属されている長尾様が2日間同席され、話題提供のみならず、色々と質問等にも答えて頂き、高い技術力と経験値が、少しでも、今回の参加者全員に技術伝承できたことがよかったと考えています。

また、今年度の開催を木曜日と金曜日としたことについては（今までは金曜日と土曜日開催）、アンケート結果で「今回の方が良い」との意見、さらに、開催時期については、「仕事が少ない春～夏の方が更に参加しやすい」との意見があり、今後の参考とさせていただきます。

なお、若手・中堅技術者が会社の垣根を越えて全員で参加したことは、昨年に引き続き、今回も非常に良い機会であったと思います。

アンケート結果でも「今回のセミナーの印象はいかがでしたか？」という質問に対して、「大変参考になった」、「参考になったものもあった」との意見を頂き、とても有意義な技術の伝承があり、良い研修であったと思います。

アンケートの内容・意見については今後の協会活動の参考とさせていただきます。

今回は、各社ともに業務多忙の時期での開催でありながら、例年同様の参加人数（13名）ではなかったかと思えます。また、震災以降から入社3年以下の若手の参加が多いことも、技術の伝承が進むものと嬉しく思います。

この地質技術者セミナーは回を重ねて参加することで、技術力が向上し人脈も構築されるものと思っており、会員各社の方々にはこの点をご理解の上、若手、中堅社員をこのセミナーに今後とも参加させて頂きたく紙面をお借りして、お願い致します。

この「地質技術者セミナー」に対するご意見や企画が有りましたら、協会にお寄せ下さるようお願い致します。

最後に、今回のセミナー開催にあたり、現場見学会を行わせて頂きました(株)不動テトラ様ならびにNEXCO東日本様、話題提供して頂きました大日本ダイヤコンサルタント(株)の長尾様、(一社)東北地質調査業協会からの助成、技術委員各位には、現場・話題提供の準備等、多大なるご協力を頂きました。ここに謝意を表します。